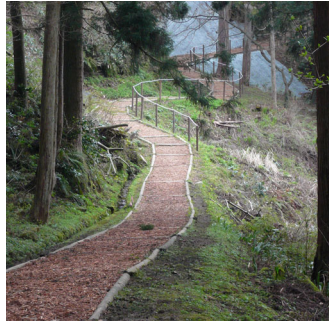


城山も衣替え

城山の春も駆け抜け、山は緑色濃い夏の装いとなりました。4月の開山祭には駐車場の桜がきれいに咲き揃いました。樋の水近くの旧道工事も何とか間に合いました。暖かい春は山菜のシーズンも早め、コゴミ、タラの芽は4月中旬がピークでした。その後、ゼンマイが5月の初め、ウドとワラビが中ごろまでに。そして、ミズブキ（カタハ）と……。初夏の花も



桜の馬場から西の丸に上がったニホンカモシカ 5.18午

彩りを添えていたが、今は白いシシウドがやけに目立つ。

本丸周辺はいまなお青いビニルシートが目立ち、修復調査が行われています。調査の中で新たな発見もあり、その報告も楽しみです。「大型車通行禁止」だった自動車道の工事は先日終わり、看板も取り払われました。

道案内3『蹴落川道』から

『七尾城址資料館』前を流れるのが蹴落川です。道は能越道の下あたりで右に折れ蹴落川に沿って続きます。数枚の山田を右に笹藪の道を進みます。平坦になったと思うと、その右が砂防ダムで、付近に石垣が残って、郭址と考えられる平坦な杉林が数段見られます。川筋が二股に分かれるあたりで流れを渡ると、再び大きな砂防ダムに出ます。杉林が切れて川底が舗装された流れを左に行くと右にコンクリートブロック塀が現れ、その昔から崖崩れが多かったと想像されます。次の杉林に入って抜けると道は行き止まり状態になってしまいます。が、その右手に道があり次の杉林へと続きます。道は川沿いの高台を通っていたと考えられ今ははっきりしません。多分、自動車道を横切って昔の大門に出たのではと想像しています。そして、この蹴落川の流れは飯田さんの別荘付近へと続いています。

